

令和 3 年度の事業報告書
令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人べっぷかんこうかい

1 事業の成果

昨年同様に無料体験会や能楽指導を実施し、能楽の普及活動に努めた。例年通り、大分市平和市民公園能楽堂発行の能楽堂新聞の掲示や会員への送付により、能楽についての広報活動を行った。地震保険金 1,162,500 円と子供教室助成金 129,740 円を雑収入に計上した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
能楽の指導、 伝授に関する事業	能楽の指導(チラシ等により一般からも参加者を随時募集)を実施した。	(A) 7/8、9、8/16、 18、9/21、22、 10/22、23、 11/4、5、 12/23、24、 1/20、21、 2/23、22、 3/22、24、 4/15、16、 5/09、10、 6/14、15 (B) 水江舞台 大分市平和市民公園能楽堂 (C) 各回 5 名程度	(D) 能楽に関心のある市民 (E) 各回 12 名前後	633 千円
能楽に関する普及事業	能楽の普及のため、当団体の設立趣旨に添った方に限り、舞台を貸し出した。	(A) 7/8、8/17、 9/28、10/13、 11/29、1/21、 2/15、3/10、 4/26、5/10、 6/21 (B) 水江舞台 (C) 各回 1~2 名程	(D) 能楽に関心のある市民	216 千円

	ポスターの掲示、チラシの配布により無料体験会を実施した。	(A)2/23、4/18 (B)水江舞台 (C)5名	(D)能楽に関心のある市民 (E)13名	
	伝統文化親子教室	(A)8/16、17、18、 (B)文化庁 (C)5名	(D)能楽に関心のある市民・子供 (E)5名程度	110千円
日本の伝統芸能・文化の振興を図る事業				
その他第3条の目的を達成する為に必要な事業	実施しなかった。			

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

令和3年度 活動計算書
 令和3年7月1日から令和4年6月30日まで

特定非営利活動法人 ベっぷかんこうかい
 (単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	600,000	
賛助会員受取会費	9,000	609,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金		
施設等受入評価益		
3. 受取助成金等		
受取民間助成金		
4. 事業収益		
普及事業収益	50,000	
伝統文化親子教室	129,740	
振興事業収益	4,000	183,740
5. その他収益		
受取利息	26	
雑収益	1,162,500	1,162,526
経常収益計		1,955,266
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	77,401	
法定福利費		
退職給付費用		
福利厚生費		
人件費計	77,401	
(2) その他経費		
通信費	26,882	
減価償却費	99,277	
水道光熱費	189,707	
地代家賃	216,000	
租税公課	26,460	
保険料	169,236	
消耗品費	10,766	
旅費交通費	58,080	
雑費	85,308	
その他	0	
その他経費計	881,716	959,117
事業費計		
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当	60,000	
法定福利費		
退職給付費用		
福利厚生費		
人件費計	60,000	
(2) その他経費		
会議費		
支払利息		
不動産賃借料	24,000	
修繕費	0	
事務費	12,931	
通信費	4,794	
水道光熱費	21,079	
租税公課	2,940	
交際費	0	
寄附金	0	
保険料	18,804	
消耗品費	8,449	
雑費	33,737	
その他経費計	126,734	186,734
管理費計		
経常費用計		1,145,851
当期経常増減額		809,415
III 経常外収益		
1. 受取配当金		
2. 雑収入		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 雑損失		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		
法人税、住民税及び事業税		
当期正味財産増減額		809,415
前期繰越正味財産額		3,512,035
次期繰越正味財産額		4,321,450

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」)

令和3年度 貸借対照表

令和4年6月30日現在

特定非営利活動法人 ベっぷかんこうかい

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	3,015,674	
未収金		
流動資産合計		3,015,674
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	1,302,636	
車両運搬具		
什器備品	10,659	
有形固定資産計	1,313,295	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
無形固定資産計		
(3) 投資その他の資産		
投資有価証券	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		1,313,295
資産合計		4,328,969
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	7,519	
流動負債合計		7,519
2. 固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金		
固定負債合計		0
負債合計		7,519
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	3,512,035	
当期正味財産増減額	809,415	
正味財産合計		4,321,450
負債及び正味財産合計		4,328,969

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（計算書類の注記）」)

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	法人税法の規定による定額法で償却しています。
器具備品	法人税法の規定による定率法で償却しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減を明らかにするために必要な事項

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

令和3年度 財産目録

令和4年6月30日現在

特定非営利活動法人 ベっぷかんこうかい
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	83,816	
西日本シティ銀行 普通預金	2,931,858	
流動資産合計		3,015,674
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	1,302,636	
什器備品		
看板設置工事	1	
雑刀	1	
エアコン	10,657	
有形固定資産計	1,313,295	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
無形固定資産計		
(3) 投資その他の資産		
投資有価証券	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		1,313,295
資産合計		4,328,969
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	7,519	
流動負債合計		7,519
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		7,519
正味財産		4,321,450